

1 学校の重点目標

- ・ 人権尊重の精神に立ち、心と心が触れ合う中で、一人一人の個性が存分に輝く教育を目指す。
- ・ 自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応する能力を培う教育を目指す。
- ・ 伝統ある教育風土を生かし、「知・徳・体」の調和のとれた全人教育を推進し、国際感覚を身に付け、自立と社会貢献への基礎を育てる教育を目指す。

2 課題と改善策 ※4段階評価 4ねらいを達成 3おおむね達成 2成果より課題が多い 1大いに改善を要する

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
心の教育	1 考え・議論する道徳の授業実践	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人権の花」運動や県 SC の指導教室を通して人権の大切さについて考えることができた。</li> <li>・ 進んであいさつができるように、「あいさつ名人」の取組を行った。今後も称賛や継続的な声かけをしていく。</li> </ul>
	2 人権教育の充実	3.1	
	3 一学校一改革「心のこもったあいさつ」	2.8	
	4 読書指導（質・量）の充実	3.0	
	5 学校生活環境の創造及び維持	2.8	
学習指導	1 授業内容・指導法の改善	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のしつけでは、机上配置や2着1黙を定着させた。（小中連携事項）</li> <li>・ 6年生は伊敷中の英語教諭から指導をいただき、スキルでの向上が期待される。</li> </ul>
	2 個に応じた指導の充実	3.0	
	3 外国語活動・外国語科の充実	3.1	
特別支援教育	1 教育相談の充実	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学指導において、先を見通した指導が今まで以上に求められるため、支援委員会等で早期に共通理解を図る。</li> </ul>
	2 一人一人のニーズに応じた特別支援教育	2.9	
生徒指導	1 自己肯定感を高める学年・学級経営	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互いに称賛し合える環境作りに努める。SEGの実践を推進していく。</li> <li>・ 学年・生徒指導主任等で情報共有を図り、学校全体（チーム）での対応を行った。</li> </ul>
	2 組織的な対応（いじめ防止を含む）	3.2	
保健指導	1 教科体育の充実・体力づくりの推進	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健面での意識を高めるために、養護教諭を中心に様々な取組を積極的に実施している。</li> <li>・ 廊下歩行、教室での過ごし方を含め、危険予知能力を自己判断できる指導を行う。</li> </ul>
	2 保健指導（う歯治療率80%以上）	3.0	
	3 食育・給食指導の充実	3.0	
	4 安全指導（危険予知能力の育成）	3.0	
情報教育	1 学習効果を上げる ICT 機器の活用	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートフォンの使い方や家庭でのルール作り等について週報やPTAで話題にして保護者と連携した指導をしていく。</li> </ul>
	2 情報モラル教育の充実	3.0	
その他	1 地域素材の活用（学校支援ボランティア）	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコ日記の取組は15年目。4年生以上が参加し、親子で環境問題を考えた。</li> <li>・ ICT 機器の自発的な研修を行い、タブレットの活用の推進を図った。</li> <li>・ 小中連携は伊敷中、玉江小と密に連絡を取り、共通実践事項を毎学期確認できた。</li> <li>・ 業務の簡素化・効率化について協議し、出来る内容を実践できた。</li> </ul>
	2 環境教育の取組（エコ日記応募等）	2.8	
	3 学校運営協議会等を通して学校・家庭・地域との連携強化	3.0	
	4 小中連携・幼保小連携の充実	2.9	
	5 服務規律の厳正確保	3.5	
	6 業務の簡素化・効率化を図る業務改善	2.8	

3 次学期に向けての取組

- 授業力を向上させるとともに、落ち着かない児童に対する支援や生活指導の工夫を全職員で協議して実践していく。
- 生徒指導事案について毎週連絡会を設け、組織で対応することができた。今後も報・連・相を密に行い、早期発見・早期対応に全職員で取り組む。（チームによる対応）